

# 議会だより



教育委員会主催のチャレンジスポーツ「スキー教室」「親子スキー教室」が、1月中旬に函館七飯スノーパークで3日間開催されました。

鹿部町スキー協会・スキー指導者と町内の有志ボランティアの方々が指導を行い、33名の子どもたちが参加し、元気いっぱいにウィンタースポーツに取り組んでいました。

## 第88号の掲載内容

- 第4回定例会の概要……………2P～3P
- 一般質問……………4P～7P
- 委員会の活動……………8P～9P

- 質問の追跡調査……………3P
- 議員全員協議会の概要……………8P
- 会議の出席状況・議会の行事………10P

発行／鹿部町議会 編集／議会運営委員会

委員長 吉 英樹  
委員 船橋 敦子

副委員長 川村 裕司  
委員 高橋 茂夫

〒041-1498 北海道茅部郡鹿部町字鹿部252-1  
TEL 01372-7-5296 (直通) FAX 01372-7-3086

# ～令和3年第4回定例会～

令和3年第4回定例会は、12月9日に招集され、会期を12月10日までの2日間と決め、2人の議員が一般質問を行いました。

また、今期定例会では、承認1件、条例3件、補正予算5件、その他議案1件と議員提出の意見書案1件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決し、会期を1日残して閉会しました。

なお、審議された議案等の主な内容は、次のとおりです。



土砂が流入した常呂林道

## 承認

◆令和3年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について  
令和3年11月2日付けで専決処分したもので、歳入歳出それぞれ2839万7千円を追加し、予算総額を38億9721万9千円としました。  
主な内容は、11月2日の記録的大雨により河岸洗堀による土砂流出や未舗装道路での土砂流出などに係る応急・復旧費用を追加したものです。

## 条例

◆鹿部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について  
全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律と健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令が施行されることに伴い、本条例の一部を改正したものです。

◆鹿部町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について  
産科医療補償制度の見直しにより健康保険法施行令等の一部が改正されることに伴い、出産育児一時金の現行総支給額42万円を維持するため、本条例の一部を改正したものです。



◆鹿部町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について  
宮浜中央団地の中堅所得者向け特定公共賃貸住宅の入居者に対する減免措置を継続するため、本条例の一部を改正したものです。

## 補正予算

◆令和3年度鹿部町一般会計補正予算について  
歳入歳出それぞれ990万4千円を追加し、予算総額を39億9626万3千円としました。  
主な内容は、新型コロナウイルス感染症の影響で工事が遅れていた汚泥再生処理センター建設工事負担金の追加と新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援するための臨時特別交付金を追加したものです。

## 質疑

子育て世帯を支援するための臨時特別交付金は、すべて現金で給付するののか。

## 副町長

年内に5万円を現金で支給する部分で予算計上をし

ていますが、現段階で残りの5万円をどのように支給するかについては、内閣府の方から正式な通知が届いておりませんので、答弁は差し控えています。

●質疑

クーポン・現金どちらでも選べる場合には、鹿部町のスタンスはどうか。

●町長

経費のからからない、そして早期に渡せるように、現金が今の段階で一番いいと思っています。

◆令和3年度鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ3985万4千円を追加し、予算総額を7億9296万円としました。

主な内容は、決算剰余金の確定に伴う一般会計への繰出金、国民健康保険財政調整基金への積立金などを追加したものです。

◆令和3年度鹿部町介護保険事業特別会計補正予算について

保険事業勘定分の歳入歳

出それぞれ525万円を追加し、予算総額を4億344万8千円としました。

内容は、保険者機能強化推進交付金と介護保険保険者努力支援交付金の交付決定などにより追加をしたものです。

◆令和3年度鹿部町後期高齢者医療特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ175万円を減額し、予算総額を6337万8千円としました。

内容は、広域連合納付金の額の確定に伴い、175万円を減額したものです。

◆令和3年度鹿部町水道事業会計補正予算について

収益的収入に265万2千円を追加し、収益的収入の総額を1億1316万5千円としました。

内容は、新型コロナウイルス感染症による町内事業所への緊急経済対策に伴う水道料金の一部減免に係る経費を一般会計より繰り入れたものです。

その他の

◆南渡島消防事務組合規約の変更について

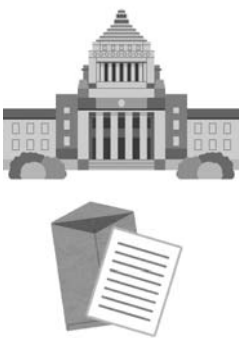
北斗市・七飯町・鹿部町によって構成されている当該組合の人事管理を一元化する規約変更について、議会の議決を求めたものです。

意見書の提出

次の意見書を可決し、関係省庁等へ提出しました。

◆地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書について

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、厚生労働大臣、環境大臣



質問の追跡調査

鹿部町議会では、議員の一般質問に対し、行政側が「検討したい」など即答をさける答弁をした場合、町長等は次の定例会で行政報告の最後に進捗状況や取組内容を報告する「一般質問

の追跡調査制度」を試行的に実施していますが、令和3年第3回定例会では、追跡調査対象事項がありませんでした。

また、理事者側からの行政報告においても、進捗状況等の報告はありませんでした。

議会を傍聴してみませんか

～次回定例会は3月上旬に開催予定～

傍聴の手続きは、傍聴席の入口設置の傍聴人受付票に、住所・氏名などを記入するだけです。

傍聴の皆様にも新型コロナウイルス感染症拡大防止のご協力とご理解をお願いしています。





佐藤 頼幸 議員

●町有財産の利活用  
●自然災害対策等について

●町有財産の利活用などについて

新庁舎移転後の旧庁舎の利活用について、検討を進めているとお聞きしているところですが、現在の検討内容などについて、お伺いします。

また、旧亀の湯跡地は、利用計画案をお聞きしましたが、その後の進捗状況についても、お伺いします。

■質問と答弁の要約

Q. 1 旧庁舎の利活用の検討内容について。

A. 1 昨年度から職員で構成する検討会議を開催して、旧庁舎の利活用や管理方法について検討をしています。

現在、旧庁舎にある防災行政無線機器の新庁舎への移転予定年度である令和4

ち上げましたが、新庁舎の整備自体、タイトな期間であったため、新庁舎の整備に全職員が集中的に関わることとなりました。

また、旧庁舎は物品の確認や課題の整理、そして防災機器を令和3年度まで旧庁舎に設置しなければならぬことから、令和4年の移動まで延びたため、一旦、町民の皆様方にきっちり説明しながら、しっかりと慎重に決めていきたいと考えています。

A. 3 庁舎を移動した理由は、防災拠点として役場庁舎は位置付けられています。旧庁舎は耐震基準を満たしていません。浸水エリアにもあることから早急に本体機能だけ持たした新庁舎を建てることとしました。

また、全部の建物を一気に山側に移すとかそういうような考えではなく、ソフト面に対応しながら利活用していく考えの下に、周辺地域のことを十分考慮しながら、賑やかなものにできればと考えています。

Q. 4 旧庁舎の利活用の検討内容を説明してください。

A. 4 社会福祉協議会や商工会など、あるいは民間の事務所などに活用できないかという部分と、解体についても議論はしましたが、結論は見出せませんでした。

現在も同じ経緯・経過を踏んでいます。答えが出ていない状況です。

Q. 5 旧庁舎の維持管理費はどのくらいかかっているのか。

浸水エリアにある旧庁舎を利活用する考え方は、おもしろいのか。

A. 5 電気料金と水道料金、セキユリテイの費用で、月額10万4千円程度かかっています。



Q. 6

町長は以前に、町の財政はそんなに潤沢な訳でなく豊富な町でないかと認識していると説明しましたが、旧庁舎の年間維持費120万円は、もったいないと思うが。

A. 6

確かに二重経費が今かかっている状況ですが、皆さんから喜ばれるような利活用じゃなかった場合のダメージが大きいです。現在若干の経費はかかっていますが、なるべく早く令和4年度中に計画を出し、早急に進めていきたいと考えています。



利活用が検討されている旧役場庁舎

Q. 3

浸水エリアにある旧庁舎を利活用する考え方は、おもしろいのか。

Q. 7 旧亀の湯跡地の進捗状況について。

A. 7 8月19日の買収後、周辺支障木の伐採と住宅、銭湯以外の建物について解体しています。

残した住宅は、福祉関連の地域活動支援センター事務所として、来年1月から暫定的に活用する予定でいます。



支障木が伐採された旧亀の湯跡地

今後の展開ですが、役場旧庁舎の利活用計画同様に、コンサルタント会社などを活用し、亀の湯の泉源を利用した「湯煙の立ち上る街並みの形成」を意識した利用計画を策定していきたい

Q. 8 と考えています。鹿部に銭湯が1軒もないが、旧亀の湯跡地に銭湯を造る考えはないか。

A. 8 また、民間などへ温泉などを貸す考えはないのか。



旧亀の湯泉源

A. 8

以前に温泉施設をやりませんかという時に、誰も手を挙げてくれないような状況でしたが、今の状況が変わってきますので、お聞きすればやられる方も出てくるかもしれませんので、その辺も含めた、基本計画をしつかり作っていききたいと思っています。

●自然災害対策等について

11月2日、上空の寒気や低気圧の影響により、道南では10分間に55ミリの全国最多降水量を記録した地域もあり、自然の脅威を改めて認識しているところです。

この大雨により大沼公園鹿部線が通行止めになるなどの影響を受けておりますが、当町の被害状況とその対応について、お伺いします。

また、今日に至るまで自然災害対策を講じているところですが、更なる対策が必要でありますので、今後の対策についても、お伺いします。

■質問と答弁の要約

Q. 1

11月2日に発生した大雨による被害状況について。

A. 1

5つの河川で土砂の流出や堆積による氾濫等が発生し、砂留めダムの土砂の除去や大型土嚢の設置のほか、暗渠清掃等を実施したところです。

また、町道では2つの路

線で土砂の流出が確認されたため、側溝や道路の清掃を実施しています。

林道でも、土砂の流出により走行困難な区域等を整備・清掃をする予定です。

また、公園でも倒木や河川への土砂流入等があり、現在、修復作業を進めているところです。



亀泊川沈砂池（応急対策後）

Q. 2

更なる自然災害への対策について。

A. 2

この度の記録的大雨はもちろんのこと、駒ヶ岳の噴火や地震・津波等の自然災害に対しましても既存施設機能の維持をはじめ、各計画の見直しをするなど更な

る減災対策に努めて参ります。

Q. 3

A. 3

初動が遅れたのか。 今回の対応、若干報告が後手になり、初動に対し、大胆に行けなかったことは反省しています。

議会が終わった直後に担当課を集め、今回の一連の作業について、検証し、問題点・課題を洗い出したいと考えています。

Q. 4

A. 4

鹿部川や亀泊川の河川対策について。 今年度から3年計画で河川の整備計画を策定します。今年度は、現況の調査等に入っている状況であります

が、今回の大雨によって状況も変わっているため、策定中の河川整備計画の中で再検討しながら、将来どのような改修がいいのか検討していければと考えています。

なお、亀泊川の水の溢れた箇所は、応急対策で上方にある砂防ダムの土砂撤去をし、現在、土砂が流れない状況になっていきます。

鹿部川は、平成28年度に危険な箇所等の調査をし、優先度の高い工事は終わっている状況です。

Q. 5

災害支援などの協定を発動したのか。

A. 5

鹿部町と協定を結んでいる各関係業者・団体・会社などは、26社ありますが、今回の大雨に係る災害に、これらの業者に協定の発動はしておりません。

Q. 6

近所のシヨベルを持っていく人が手伝ってくれている状況で、災害支援の協定を発動しないのはなぜか。

A. 6

初期段階の中で、道路まで軽石が出てた部分がありますが、ある程度の部分進んでいった中で、役場のシヨベルと町がお願いした業者のシヨベル、この部分だけで間に合ったのではないかと思います。

複数の団体・会社等と災害協定を結んでいるのは事実ですが、助けを求めるような規模ではなかったと思います。

大雨の影響により、水道施設の不具合が生じたと言いたが、どのような不具合なのか。

Q. 7

水を川から取る施設の入口の部分が、土砂で埋まり堆積したことから、バキユーム車で土砂の撤去をし、復旧しました。



取水口が土砂で埋まり堆積した状態

水道施設の不具合の対策をどのように考えているのか。

Q. 8

現在、コンサルタント等へ相談していますが、土砂の溜まらないような方法等を検討して参りたいと考えています。

A. 8



高橋 茂夫 議員

### 基金積立の考え方について

現在、鹿部町の財政状況は、関係者の懸命な努力により健全化が維持されていると認識しており安堵していますが、将来的には町の公共施設、幼稚園、消防署等の建替えや水道施設、道路などの老朽化設備に対する整備が目白押しで、その対応は待ったなしの状況にあると認識しております。



建替予定のしかべ幼稚園

### 基金積立の考え方について

一方で、ふるさとしかべ応援寄附金は、順調に増加しているようです。

そこで、その使い途ですが、できる限り将来のインフラ投資に備えストックしておくべきだと考えますので、基金積立の考え方についてお伺いいたします。

### ■ 質問と答弁の要約

Q. 1

基金積立の考え方について。

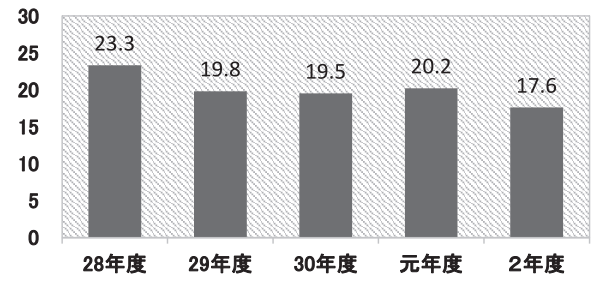
A. 1

本町における一般会計の基金は、財政調整基金や公共施設整備基金など全体で8本保有し、令和2年度末残高は約17億6千万円となります。

昨年は、役場庁舎建設事業の財源として、基金を取り崩しての財政運営となりました。

### ■ 基金残高（一般会計）

(単位：億円)

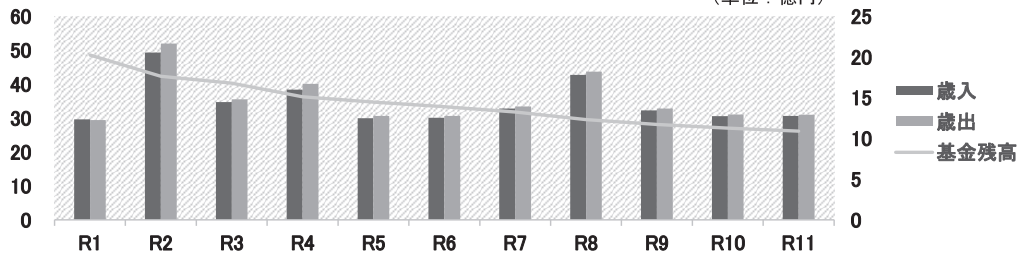


現在の基金積立の方針は、予算編成時における歳入と歳出のバランスを見て予算を計上し、決算時において、最終的な積立額、取崩額を決定していますが、今後の公共施設の更新等に備え、町の魅力が著しく落ちることのない範囲内において、より効率的な、また、将来の経費節減につながるものや民間・国・道の支援が受けられるもの以外は極力支出を抑え、財源確保に努めるべきと考えています。

基金残高推計 ～鹿部町長期財政計画より～

(令和3年11月1日現在)

(単位：億円)



また、長期財政計画では、10年後には10億程度まで基金が減る計画でしたが、今必ず行わなければいけない大規模な公共施設の更新については、今後10年程度で一段落させながらも、現在

の基金残高17億程度を維持できるようなバランスを考え進めて、なるべく早い段階で今回取り崩した以前の残高、約20億を目標に計画策定できればと考えています。

Q. 2 不用額を減少させ、収入未済額の収入を上げ増収対策を精力的に行い基金の増に努めるべきであると考えますが。

A. 2 不用額の発生する理由は大きく3つ程あり、①予算の効率的な執行や経費の削減により差額が生ずるもの、②予算編成後の予見し難い事情により生ずるもの、③予算上の見積もりや想定が実情と合わず差額が生じるものが不用額です。

予算精査をし、なるべく不用額を減らすように対応

したいと考えています。

また、近年の滞納対策が徐々に浸透し、納税意識が向上されていることや行政サービス制限条例、更には延滞金により増収傾向にあります。引続き手を緩めることなく、効率的な滞納整理を進めて参りたいと考えています。



基金増は、なるべく貯めれるように頑張っていきたいと思っております。

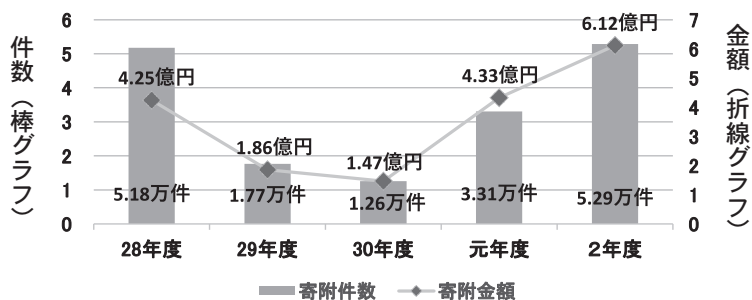
Q. 3 基金を財源とした産業チャレンジ支援事業補助金は、今年で4年目ですが、見直す時期にきてると私は思います。

A. 3 会議体において色々議論をし、毎年変えながら4回やってきました。

また、ふるさと納税を原

資としていたため、長く続けるのは好ましくないという観点から、一度、しっかりと検証を含め、会議体の方に諮っていきたくと考えています。

ふるさと納税



Q. 4 町の借入金32億円ありま

また、中小企業への支援については、チャレンジとは違う方法で商工者のことも考えながらやっていきたく考えています。

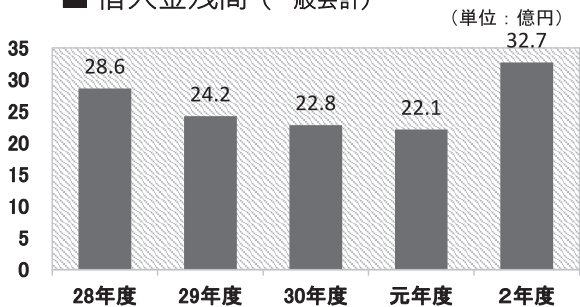
ですが、普通交付税からその借入金に充てるお金が約20億円あります。

32億円から20億円を引くと12億円が借金という理解となります。

基金18億円くらいありますので、この関係を是非維持するように、そして、国の交付金など使えるものは使う進め方を是非してほしいと思っております。

A. 4 ご指摘のとおり、しっかりと進めて参りたいと思います。

借入金残高 (一般会計)



# 議員全員協議会・委員会の活動

## 議員全員協議会

■令和3年第7回議員全員協議会

○開催年月日  
令和3年11月30日

○議題

1 令和3年度新型コロナウイルス感染症拡大防止対応地方創生臨時交付金（事業者支援分）に係る充当事業について

新型コロナウイルス感染症に関する国の事業者支援分に係る充当事業について説明を受けました。

2 認定こども園開設に伴う無償貸付地の選定について

新たな津波の浸水エリアが確定するなど、条件が変化したことから、新たな候補地の計画案と概算事業費の説明を受けました。

3 その他

- (1) 11月2日の大雨による被害概要について
- (2) ロイヤルホテルみなみ北海道鹿部に関する現況について
- (3) 今後の施策方針について

右記、3件の説明を受けました。

■令和3年第8回議員全員協議会

○開催年月日  
令和3年12月9日

○議題

認定こども園開設に伴う無償貸付地の選定について

継続協議（内容精査）となっていた当該議題について、子どもの安心・安全の確保、子育て家庭の不安解消と利便性の良さの2つを優先項目とし、総合的に勘案した無償貸付地の説明を受けました。

## 総務経済常任委員会 所管事務調査

◇調査年月日

令和3年10月29日

◇調査事項

道道大沼公園園鹿部線等の視察について

◇調査方法

担当課より関係資料に基づき説明を受け、調査及び現地視察調査を実施した。

◇調査の結果

(1) これまでの経緯について

平成以降、道道大沼公園鹿部線は、法面崩落が2回、道路崩落が1回発生し、都

度、当委員会では所管事務調査を実施してきたところである。

また、道路管理者である北海道では、井桁擁壁の設置や補強盛土工法などにより復旧工事を実施した。

なお、連続雨量120mmでの通行止めによる事前通行規制は、救急搬送や地域経済への影響が大きいため、地域住民の安心・安全と地域経済の安定が確保されるよう、駒見地区における安全対策を重点施策として取り組んでいた。このような道に対し、町部局及び議会により要望活動を実施しているところである。

(2) 対策工事等の概要について

北海道では、落石対策として、令和2年度及び令和3年度に南側斜面の地表に露出している浮石が道路の路面に落下するのを防ぐため、落石防護柵を206m設置した。

また、令和4年度には53mの落石防護柵を設置し事業を完了する予定である。

なお、北海道では平成26年度からボーリング調査による地滑り観測を実施し、令和4年度に水抜きボーリングの施工を予定、地滑り観測は令和5年度まで継続する予定であり、その結果を基に120mmの事前通行規制の解除を検討することとしている。

(3) 迂回路について

ア 旧留の湯入口からのルート（折戸川・川向いのルート）

平成25年度の当委員会所管事務調査において現地視察を実施しているが、落石により通行不能であり、落石対策に多額の事業費を要することから、迂回路として適さないことを確認している。

イ 山側からのルート（ゴルフ場側のルート）

平成25年に町部局で現地確認したところ、通行不能であることを確認している。



山側ルートの視察

◇調査意見

この度の調査では、土地所有者の許可を得て、改めて山側からのルート（ゴルフ場側のルート）を視察してきたが、一部舗装されているものの、ゴルフ場の敷地内等を通る箇所もあり、また、道路幅も狭く急カーブが多いなど、車両の対面通行には適しておらず、途中から樹木などが生い茂り通行ができない状況となっている。



しかしながら、道道大沼公園鹿部線は本町において最も重要な生活道路であるため、交通規制となった際には、町民の生活に大きな支障をきたすばかりか、緊急車両も迂回しなければならぬ状態となる。

また、北海道では地滑り調査を継続し、規制緩和に向けて対策工事を進め、工事完了後、解除に向けて検討することとしている。

このことから、現道に加えて最短で通行が可能な迂回路の再考等を強く期待するものであり、土砂崩落等の事故が発生しない、また、冬道の道路凍結等でも安全な通行が可能となるよう道路改良も含めた中で、今後とも北海道へ強く要望することを望むものである。

## 民生文教常任委員会 所管事務調査

◇調査年月日

令和3年11月1日

◇調査事項

渡島廃棄物処理広域連合施設「クリーンおしま」の視察について

◇調査方法

現地にて、施設職員による説明を受け、視察及び調査を実施した。



ごみピット

◇調査の結果

渡島廃棄物処理広域連合は、渡島管内の北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町の1市9町で構成され、処理区域としている渡島ブロック（八雲町は合併前の旧八雲町区域）の人口は約13万人を数える。

平成9年1月に国によるダイオキシンの削減、大型施設による24時間連続運転及びごみ処理の効率化を骨子とした「ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止

等ガイドライン」及び同年12月の北海道による「ごみ処理の広域化計画」に基づき、渡島ブロックとして、平成15年4月からごみの広域処理を行っている。

こうした広域処理を行うため、焼却施設と運搬中継施設を建設し、焼却施設の「クリーンおしま」では、環境保全や資源の回収、安全性等を考慮し、熱分解ガス化溶融炉（キルン式）を採用し、余熱利用として発電、ロードヒーティング、給湯を行っている。

また、渡島ブロックは地理的条件から、ごみの運搬距離が長い。渡島西部茅部、山越の3地区にそれぞれごみ運搬中継施設（リレーポート）を建設し、各地域のごみを受け入れ、コンパクタ・コンテナ方式により焼却施設まで効率的に運搬している。

なお、施設の事業費は、「クリーンおしま」が61億7956万5千円、「リレーポート」が3か所で、31億9961万3千円で総事業費では93億7917万8千円となっている。また、ごみ処理施設は一



鉄とアルミに選別された残渣



熱分解残渣選別設備(鉄とアルミに選別)

般的に、施設を構成する設備・機器や部材が高温・多湿や腐食性雰囲気暴露され、機械的な運動により摩耗しやすい状況下において稼働することが多いため、他の公共施設と比較すると、性能低下や摩耗の進行が速

く、施設全体としての耐用年数が短いと言われている。渡島廃棄物処理広域連合の施設も経年劣化等が見られ、焼却施設、運搬中継施設ともに供用開始から30年の安定稼働、機能保全を目標に「長寿命化総合計画」を策定し、国の循環型社会形成推進交付金を活用した基幹的設備改良事業（総事業費50億4878万4千円）を平成30年度から令和2年度までの3か年で実施した。

◇調査意見

ごみの処理は、住民の日々の生活に欠かせない公共サービスであり、今後も各施設の機能保全に注意を払いながら、ごみ処理業務の一層の安定化に期待するものである。

また、渡島廃棄物処理広域連合の経費負担については、構成市町による均等割及び実績ごみ量割となっているため、ごみの減量化が町の財政負担の軽減となることから、町広報などにより、更なるごみの分別・リサイクル化について周知徹底されることを強く望むものである。

## 令和3年10月～令和4年1月 本会議、各委員会等の出席状況

(○は出席、×は欠席(病欠含む)、△は遅刻・早退、―は該当なし)

会 議	佐藤 頼幸	千葉 光義	三谷 百十樹	川村 裕司	吉 英樹	中川 一	船橋 敦子	高橋 茂夫	浦 梅吉
総務経済常任委員会所管事務調査 (10/29)	―	○	―	―	○	○	○	―	○
民生文教常任委員会所管事務調査 (11/1)	○	―	○	○	―	○	―	○	―
第7回議員全員協議会 (11/30)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会 (12/6)	―	―	―	○	○	○	○	○	―
令和3年第4回定例会 (12/9)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務経済常任委員会 (12/9)	―	○	―	―	○	○	○	―	○
民生文教常任委員会 (12/9)	○	―	○	○	―	○	―	○	―
第8回議員全員協議会 (12/9)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会 (議会だより編集1/18)	―	―	―	○	○	○	○	○	―

# 議会の行事

### 11月

- 1日 民生文教常任委員会所管事務調査  
(全委員)
- 20日 北海道知事鈴木直道政経セミナー  
(議長)
- 30日 第7回議員全員協議会 (全議員)

### 12月

- 6日 南渡島消防事務組合第3回議会定例会  
(関係議員)
- 議会運営委員会 (全委員及び議長)
- 9日 第4回定例会 (全議員)
- 総務経済常任委員会(全委員及び議長)
- 民生文教常任委員会 (全委員)
- 第8回議員全員協議会 (全議員)

- 11日 自民党北海道政経セミナー (議長)
- 17日 第1回鹿部町表彰審議会  
(議長及び関係議員)
- 22日 渡島福祉会第3回理事会 (議長)

### 1月

- 2日 鹿部消防出初式 (議長及び議員)
- 7日 七飯消防出初式 (関係議員)
- 8日 北斗消防出初式 (関係議員)
- 18日 制度概要説明会(ゼロカーボン北海道)  
(全議員)
- 議会運営委員会 (全委員及び議長)
- 27日 渡島町村議会議長会定期総会 (議長)
- 31日 総務経済常任委員会所管事務調査  
(全委員及び議長)